

収蔵資料展 イッカク ー長い牙を持つクジラー

イッカクの骨

(ワークシートの答えにもなっています)

千葉県立中央博物館分館

海の博物館

TEL 0470-76-1133

〒299-5242 千葉県勝浦市吉尾 123

FAX 0470-76-1821

展示解説シート

平成 15 年 1 月 11 日発行

無断複製・転載はお断りします

イッカクの脚

クジラの祖先は、陸上でくらす4本足の動物でしたが、水の中でくらすようになり、現在のような姿に進化してきました。外見からはわかりませんが、骨を観察すると陸上でくらしていた頃のなごりを見ることができます。

- Q1. 胸びれには、指が何本あるでしょう？ Q2. 体の真ん中あたりにある骨は何でしょう？

答え：5本

骨を見てみると、私たちと同じように5本の指があることが分かります。

答え：腰の骨（骨盤骨）

クジラのなかまでは後ろ脚はなくなっていますが、脚を支えていた腰の骨が残っています。

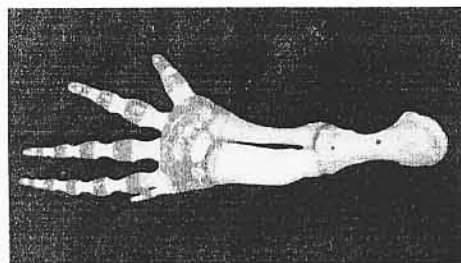


図 1. 胸びれ（右）の骨

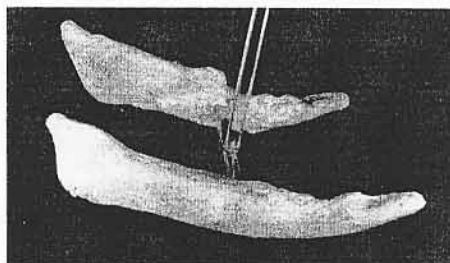


図 2. 腰の骨（骨盤骨）

イッカクの牙

- Q3. イッカクの牙は、どこから伸びているでしょう？ Q4. イッカクの牙にはどんな模様があるでしょう？

答え：左から

答え：左まきのねじれ模様

イッカクの上顎には2本の歯があるのですが、オスでは、そのうち左側の歯だけが、左まきにねじれながら長く伸びていきます。この牙はオス同士の争いに用いられていると考えられていますが、なぜ左の歯だけがこのようにねじれながら伸びるようになったのかはよく分かっていません。

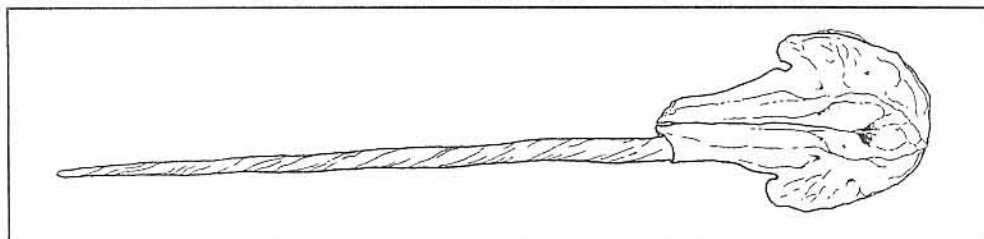


図 3. 頭の骨と牙

イッカクの背骨

- Q5. オスの背骨の数は、いくつでしょう？

答え：53個（頸椎7個、胸椎12個、腰椎9個、尾椎25個）

イッカクの背骨（脊椎）は、合計50～55個の骨からなっています。ただし、これらの骨は癒合してしまうこともあり、展示されている骨格標本でも尾の先端の2つの骨が癒合して1つに見えます。また、他の多くのハクジラのなかまでは、首の骨（頸椎）の一部が癒合しているのですが、イッカクの首の骨はしっかり7つに分かれています。

（研究員 村田 明久）